

<株式会社エフエム東京 第 460 回放送番組審議会>

1. 開催年月日：平成 31 年 7 月 2 日（火）
2. 開催場所：エフエム東京 本社 10 階 大会議室
3. 委員の出席：委員総数 6 名（社外 6 名 社内 0 名）

◇出席委員（4 名）

横 森 美 奈 子 委員長	渡 辺 貞 夫 委員
秋 元 康 委員	ロバート キャンベル 委員

◇欠席委員（2 名）

川 上 未 映 子 委員	内 館 牧 子 委員
--------------	------------

◇社側出席者（12 名）

黒 坂 代表取締役社長
西 川 取締役副社長
程 島 常務取締役
小 川 常務取締役
小 林 常務取締役
大 橋 常勤監査役
村 上 取締役営業局長
森 田 執行役員編成制作局長 兼 株式会社グランド・ロック代表取締役社長
延 江 編成制作局ゼネラルプロデューサー
宮 野 編成制作局次長 兼 編成部長
若 杉 編成制作局制作部長
増 山 番組プロデューサー

◇社側欠席者（0 名）

【事務担当 森田放送番組審議会事務局長】

4. 議題： 番組試聴（約 24 分）
『Blue Ocean』 6 月 26 日（水） 9:00～11:00

《議事内容》

議題 1:最近の活動について

■ 『HARUKI MURAKAMI 40th Annysary 村上 JAM ～村上 RADIO SPECIAL NIGHT～』 開催

TOKYO FM をはじめとする JFN38 局でこれまで 6 回放送されている、作家・村上春樹氏がディスクジョッキーをつとめる特別番組『村上 RADIO』では、村上春樹氏の作家活動 40 周年を記念し、6 月 26 日（水）TOKYO FM ホールにて、公開収録イベント『HARUKI MURAKAMI 40th Annysary 村上 JAM ～村上 RADIO SPECIAL NIGHT～』を開催しました。

当日は、坂本美雨氏が MC をつとめ、音楽監督に村上春樹さんと親交の深い大西順子氏、ゲストに北村英治氏、渡辺貞夫クインテットなど豪華メンバーを迎えた一夜限りのスペシャルライブを実施。さらに、村上春樹ファンであり、兼ねてより親交のあるスガシカオによる「夜空ノムコウ」の弾き語り、高橋一生氏による村上春樹作品の朗読、村上春樹氏本人によるサプライズな朗読、村上春樹氏による各ゲストとのトークパートなど、過去にない、プレミアムなイベントとなりました。イベントの終盤では、ノーベル生理学・医学賞を受賞した生物学者の山中伸弥氏も飛び入りでトークに参加。村上春樹作品のファンであることをエピソードとともに紹介しました。

村上春樹氏初の公開収録イベントということもあり、限定 150 名の観覧募集に対し、ハガキと WEB を合わせて約 1 万 2000 通の応募があるなど、大変大きな反響となりました。

この公開収録の様子は、8 月 25 日（日）、9 月 2 日（日）の 2 週にわたり、19:00～19:55 TOKYO FM をはじめとする JFN 全国 38 局ネットで放送いたします。



▲全員での集合写真

＜第 460 回放送番組審議会議事録＞



▲大西順子を監督に迎えての村上 JAM バンド



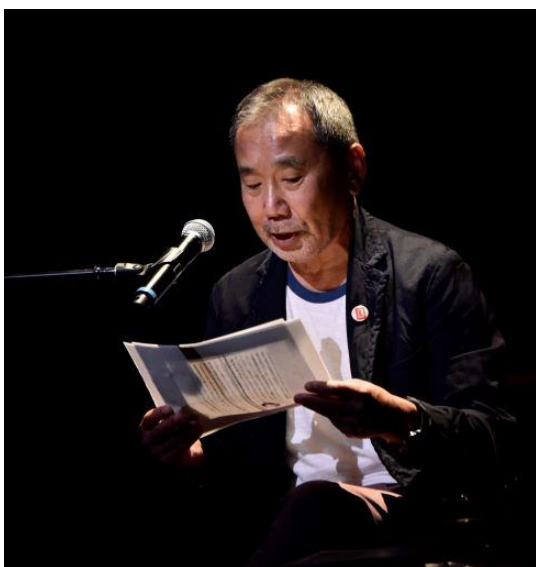
▲渡辺貞夫クインテット



▲スガシカオ



▲高橋一生による村上春樹作品の朗読



◀村上春樹氏本人による朗読

■TOKYO FM サンデースペシャル『GOOD MUSIC、GUCCI PLACE』

TOKYO FM では、6月2日(日)19:00-19:55 に、グッチジャパン提供の特別番組、TOKYO FM サンデースペシャル『GOOD MUSIC、GUCCI PLACES』を放送いたしました。「GUCCI PLACE」とは、グッチにインスピレーションを与えてきた場所へ、旅や探索へのご案内する 2018 年にスタートしたプロジェクトで、ブランドの世界観や価値観と通じ合う場所を世界中から選び、現在までに 13 箇所が選ばれています。日本では、中目黒にある、日本で唯一のカセットテープ専門店「Waltz」が選出されています。特別番組では、このカセットテープ専門店「Waltz」を舞台に、カセットテープの A 面・B 面に見立て、ミュージシャンの峯田和伸（銀杏 BOYZ）、ハマ・オカモト（OKAMOTO'S）がそれぞれ、店主と対談し、現在進行形のカセットテープカルチャー、アナログ音源とデジタル音源の未来について語りました。

なお、番組内で使用した楽曲はカセットテープ音源を使用しました。



▲Waltz 店主×峯田和伸



▲Waltz 店主×ハマ・オカモト

参考：GUCCI PLACE は他に

Chatsworth (チャッツワース・ハウス：英国、ダービシャー州) を皮切りに、*Gucci Garden* (グッチ ガーデン：イタリア、フィレンツェ)、*Boboli Gardens* (ボーボリ庭園：イタリア、フィレンツェ)、*The Biblioteca Angelica* (アンジェリカ図書館：イタリア、ローマ)、*Castello Sonnino* (カステッロ・ソニーノ：イタリア、モンテスペルトリ)、*LACMA* (ロサンゼルス・カウンティ・ミュージアム・オブ・アート：米国、ロサンゼルス)、*Bibo* (ビーボ：中国、香港)、*Daelim Museum* (大林美術館：韓国、ソウル) などとコラボレーションしています。

■Skyrocket Company 「東京ヤクルトスワローズ大応援スペシャル 2019」

TOKYO FM で月～木 17:00～19:52 に放送中の働く若者たちを応援する“ラジオの中の会社”『Skyrocket Company』では、6月21日(金)、神宮球場で行われた「東京ヤクルトスワローズ vs 千葉ロッテマリーンズ」をリスナーとともに応援する特別企画「東京ヤクルトスワローズ大応援スペシャル」を開催しました。第6回目となった今年は、リスナー特別応援シートをオリジナルTシャツ付で販売し、限定300席が完売。番組パーソナリティ・マンボウやしる本部長と浜崎美保秘書による始球式、浜崎美保とリスナーによる両チーム選手への花束贈呈、ラッキーセブン東京音頭への浜崎美保とリスナーの参加など、様々なスペシャル応援企画を行いました。試合結果は3対12と、連敗を止めることは叶いませんでしたが、集結した300名のリスナーは選手たちの健闘に大きな拍手を送り、東京ヤクルトスワローズ大応援スペシャルを終えました。



▲参加者全員での集合写真



▲パーソナリティの浜崎美保とマンボウやしるによる始球式

【委員の意見および社側説明】

(「○」委員意見／「■」社側意見)

○『GOOD MUSIC、GUCCI PLACE』について、グッチは3年前に経営とデザインが入れ替わった。現社長が日本に来るたびお話する機会があり、グッチプレイスについては、中目黒の「Waltz」、とても小さな店舗ではあるが、大変重視していると聞いている。9月には、資料に掲載のある、同じくグッチプレイスに認定されているイタリアの図書館をデザイナーとともに訪れるという企画がある。かなりエッジな面で社会に対して提言をしている。そのような取り組みは、持続させることができたらと思う。TOKYO FM とはとても相性がいいと思う。今後もいい関係を築いてほしい。

議題 2：番組試聴

【番組名】 『Blue Ocean』

【放送日時】 2019年6月26日（水）9:00～11:00

【番組概要】

本日もご試聴いただくのは、平日月曜日～金曜日の 9:00～11:00 に放送している『Blue Ocean』の 6 月 26 日（水）放送のダイジェストです。

『Blue Ocean』は、フリーアナウンサー住吉美紀がパーソナリティをつとめ、2012 年 4 月にスタート。7 年目を迎えた平日午前の生ワイド番組です。

メインターゲットは 20 代～40 代の女性層。社会問題や今話題になっている事象を、一方的なアナウンスではなく、リスナーからメールを募り紹介する形で取り扱っていますが、実際の体験者や、時には専門家からもメールが届くなど、多くの「現場の声」が寄せられるのが特長となっています。

2019 年 6 月 26 日（水）放送回では、昨今、話題となっている「男性の育休」についてを取り上げました。

男性育休 ” 義務化 ” に向け、自民党有志が議員連盟を発足準備、また、先日、SNS を発端として、大手化学メーカーの男性社員が育休直後に転勤を命じられた問題が話題になるなど、ニュースや SNS で男性の育休について、連日議論が繰り広げられています。

これらのニュースを受けて、6 月 26 日の『Blue Ocean』では、「男の子育て」をテーマにメッセージを募集しました。子育て現役中の方や、親世代、これから子育てを行っていききたいという方など様々な年代の方からメッセージが寄せられ、実際に働く現場で起きている問題点や、社会に残る課題について改めて共有し、リスナーに届けた放送回です。放送終了後には、リスナーサービスセンターにもメールが届くなど、大きな反響を得ました。

【委員の意見および社側説明】

(「○」委員意見／「■」社側意見)

○扱ったテーマ、メールで寄せられた意見がどれも納得できる素晴らしい内容。私の場合も、特に会社員ではないので育休という制度には無縁であったが、ある時妻から、「子どもが一番かわいい時を目撃しないでどうするの」と言われたことがキッカケとなり、一緒に育てるようになったと思う。今回の放送内容は、聞いた人みんなが、「確かにその通り」と納得するものであったと思う。おそらく、このようなテーマを取り上げる番組は他にもたくさんあるだろう。番組タイトルに『Blue Ocean』とあるように、あえて逆手をとって、真逆の意見を取り上げたら、他ではないような展開になったかもしれない。例えば、「育休をとるから経済が停滞するんだ」のような暴論は例としては極端だけれど、育休反対の人たちをたくさん出したら、今の時代では、考えられないようなテーマとなる。「育休」を推進しようという社会の流れの中で、心地よく納得できる意見ばかりではなく、反論を取り上げるような、そんなことをテーマとしたら、番組の展開が予定調和で終わらず、逆に伝わるのかもしれないと感じた。また、本当は「反対なんだ」という、今はなかなか言いにくい意見を拾い、そこから今後の糸口がつかめると思う。

○朝の9時に聞きたいテーマではなかった。午前中はもっとゆったりと聞きたいが、話のテンポも早く、できればこの時間帯ではないほうが良いと感じた。

○先ほど、時間帯の話があったが、午前中は特に主婦層といわれる女性をターゲットとしていて、実際女性リスナーが多いと聞いた。男性の育休という意味では、この時間帯でいいのかという疑問はある。むしろ、出勤前の時間帯、働く人たちにこそ、あるいは若い男性たちが聞ける時間帯にしっかり取り扱った方がいいのではないかと思った。そのくらい、これからの日本、日本経済にとって大事なテーマとなっている。このテーマを取り扱ったことは素晴らしいと思う。演出面は特に凝っているという訳ではなく、急ごしらえのテーマと伺ったが、その割にとてもしっかり意見、メッセージがリスナーから寄せられていると感じた。イクメンという言葉に問題があるとか、育休の義務化よりも毎日定時に帰れる方がいい、などは現場の生の声。

○グラデーションが必要なテーマだと感じるが、パーソナリティがどんどん進行していくのが少し気になった。「それはそうですね」「これはこうですね」と自分だけで納得して進んでいったり、ひとりしゃべりはとても自信に満ちているのに、他者の話を聞かるときに自信がなさそうになるので、もう少しぐいぐいと入り込んでいけたら、もっと心が伴うのではと感じた。

○午前中に聞きにくいという意見があったが、実際は2時間この話題をしているのではなく、途中で曲やニュースがあったのか。

■2時間を25分に凝縮して編集しているだけで、実際は間に別のコーナーや曲、ニュースなどが放送されている。

○私も、娘のように育てた姪が最近出産をしたこともあり、とてもリアルに聞いた。彼女の夫は、協力的というかそれ以上に、子育てが楽しくて仕方ないというような形で育児に携わっている。職業はIT関連であるが、(子育てのために)仕事を辞めたいくらいだと言っている。私の周りの女性が仕事をしていることが多いせいか、そのようなありがたい例、男性が家事を好んでいて関係がうまく成り立っている例がたくさんある。また、ファッション業界の女性の権利に関わるNPOにも属しているが、ファッション業界は女性が多く働いているのにも関わらず、なかなか女性のリーダーが出てこず、会社単位では大変遅れているという事実もある。それをサポートしていこうという趣旨のNPO団体だが、最初は、いかに女性のリーダーを生み出していくか、という話が主流だったが、今はそうじゃなくて、より良い仕事のクオリティを追求したいとか、出産前後に休みが欲しいとか、時短勤務をしたいとか、女性も必ずしもリーダーになりたいわけではなく、ライフスタイルに合った働き方を選ぶようにサポートの仕方が変わってきている。今はそういうプロセス。義務化という言葉はナンセンスだと思うが、古い考え方の男性が多く、そうせざるを得ないのも理解はできる。今までは女性の働き方が注目されることが多かったが、男性の働き方も議題に上がるようになったというのはとてもいいこと。

○「Blue Ocean」という番組は、パーソナリティがとても優等生的で、どんな話題を振られてもだいたい対応ができる。おしゃべりのプロ。それはいいことでもあるが、聞き手からすると、物事をきちんと運んでいる気がして安定してしまって、寄り添うという視点が足りないように感じる。デリケートな部分が伝わってこない。午前中はデスクワークをしていることが多いので主張が強くても伝わってこない。以前、午前中の帯番組の聴取率が下がったというのを伺ったが、少しマンネリ気味の可能性もあるのかと感じた。

■実際は反対の意見も届いていたので、1つでも紹介しておけば良かったかも知れないと反省がある。確かにポジティブなものばかりだった。少し塩分を加えたほうが良かったと思う。「育休なんてぬるい。俺たちの時代は働いて妻と子を養って育児も手伝った。妻を働かせるな、男がしっかり働け」という強い意見も届いていた。

○メールの紹介だけでなく、それを実際の声で届けられたら面白かったのでは。その人をどう説得するかが、拡がりがあるのだと思う。

○適性というものもあって、手伝われる方が迷惑な不器用な男性もいる。そういう部分も紹介できたら良かった。アメリカでは家事や介護も当たり前のようにプロにお願いしているとか。

<第 460 回放送番組審議会議事録>

○とてもいい番組だったのだけれど、これはニュース性がない。「こんなやつがいる！」
ほうがニュースにはなる。そうしないと拡がっていかない。どんなにいい番組でもキッカ
ケがないと聞かれない。もう少し何か一石を投じたほうがいい。

■反対の意見も本当はいっぱい来ていた。あえてそういう意見を入れる、というのはい
いヒントになった。

6.議事内容を以下の方法で公表した。

① 放送:番組「Ready Saturday Go」

7月 27 日 (土) 7:00～7:20 放送

② 書面:TOKYO FM サービスセンターに据え置き

③ インターネット:TOKYO FM ホームページ内 <http://www.tfm.co.jp/>